

一人一人が光を放つ

未来を生き抜く子らのために

ときわ会岩船村上支部支部長

村上小学校長 鈴木正美

(58年度)

引き続き支部長を仰せつかりました。今年度は新型コロナウイルス禍により混沌とした状況が依然続いています。こんな時こそ、ときわ会本旨に立ち返り、支部会員の意気と知恵を結集させ、伝統ある支部活動の充実と発展に努める所存です。

今年度のときわ会のビジョン

吉田隆会長は、「新しい時代の教育を創るときわ会」を基本方針に掲げ、「実践的指導力を高める研修の充実」「計画的な人材育成」「ネットワークの拡充と情報発信」等を活動の重点としました。その上で、大切にしたいこととして「研修と親睦の両立」「ベテランの知恵と若手の発想の融合」の二点を挙げています。

今年度の支部のビジョン

今年度も「集い、つながり、磨き合い、一人一人が光を放つ」支部を目指します。しかし、まずは子どもたちの安定した日常を取り戻すべく、事態の収束に努めなければなりません。その上で、研修での学びを学校経営や日々の教育活動の質的向上に直結させて指導力の向上を図ります。

「集い」研修や活動の実施にあたり、会員のニーズを把握し、参加したくなる、参加しやすい内容・運営を工夫します。そして、満足度の向上と会員の加入促進を図り、研修の深まりと組織の充実に努めます。

「つながり」会員相互の横（年度・年層ごと）や縦（所属・サークル・地区ごと）のつながりを太くする活動や研修を大切にします。それにより所属感・連帯感を高め、一枚岩となった支部活動の充実に努めます。

「磨き合い」授業改革に向け、問題意識に基づいた授業実践の積極的な発信は、自らの専門性を高め、光を放つ上で必要かつ重要です。会員相互の学びとつながりの往還を促す場を工夫し、人材の育成に努めます。

私たちは、「情熱・使命感・感性」をもって、眼前の子どもたちに正対して寄り添い、資質・能力の育成に鋭意努力する存在でなければなりません。未来社会を逞しく生き抜く子どもたちのために、県北の教育をリードするという気概をもち、一人一人の光を放つ取組を期待しています。